

宇治田原山手線の早期完成に向けて…

『都市計画道路宇治田原山手線の早期完成を求める住民会議』では、新名神高速道路建設事業が進む中で、将来に向けて更なる交通量の増加が予測されるこの機会に、国道307号だけに依存した町内交通体制から脱却し、災害時や今後の交通量増加にも対応したまちづくりを誘導するため、宇治田原町に関わる全ての者が協力し、要望活動・啓発等に取り組んでいます。その中、今回号では、第1号発行後の取り組みについて報告させていただきます。
今後とも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

～啓発活動～ 8月29日 横断幕・のぼり旗を設置

住民の連帯と参加の促進を図ることを目的に、8月29日（金）を『啓発活動日』とし、横断幕（1カ所）・のぼり旗（100枚）の設置及び卓上のぼりの設置を行いました。

当日、町総合文化センターには約150名もの有志が詰めかけ、設置作業開会セレモニーを行い、その後、ドライバーがじっくり見られるよう国道307号の信号付近を中心にのぼり旗を立て、田原小交差点の歩道橋に横断幕を掲げました。

今後も全線早期完成に向けた事業の推進のため、各種イベント時にのぼり旗を活用した啓発活動を行いながら町内の道路を利用する全ての人に対して、「宇治田原山手線」の必要性を訴えていきます。



啓発活動に集まった参加者



歩道橋に設置した啓発用の横断幕

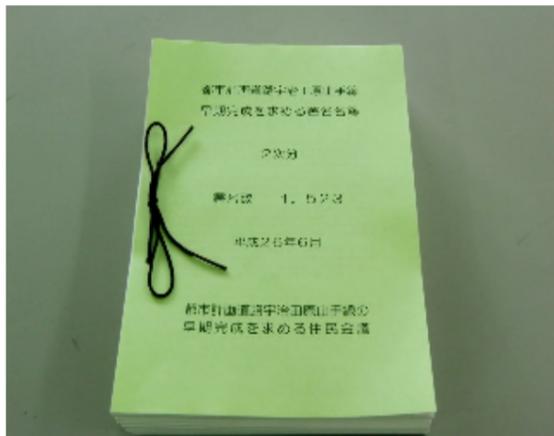
～京都府知事への第2次要望活動～ さらに、1,523名の思い（署名）届ける！！

住民会議の活動の一つとして、「地域住民の声」を関係機関へ届ける『要望活動の実践』を掲げ、3月12日（水）に第1次署名活動の16,920名分の署名を提出しました。さらに、署名活動を継続し、6月30日（月）に第2次署名活動の1,523名分の署名を山田啓二京都府知事に提出し、皆様の思いを直接伝えることができました。

第1次・第2次を合わせ、町人口の倍近くになる18,443名分もの署名が集まりました。皆様のご協力、誠に有難うございました。



山田京都府知事に直接署名を届けました



皆様からいただいた1,523名の署名

【山田京都府知事のコメント】

宇治田原の皆さんのやってもらいたいという気持ちは分かったので、それを踏まえ、1つ1つ検討をしていきたい。まちづくり計画との整合を図りながら、府と町が意思疎通を図り、山手線整備に向けて歩みを進められるようにしたい。

～いよいよ動き出す新名神～

9月9日（火）に町総合文化センターで、4地区の地元対策協議会との設計協議調印式と幅杭打ち式が行われました。

今後、2023年度の開通を目指し、これまでの設計協議を基にした詳細設計が行われ、用地取得や各種調査の後、建設工事に着手される予定です。



調印式



幅杭打ち式

